

## もの忘れが気になったら・・・

誰でも年をとると、  
もの忘れを自覚するようになります。

加齢に伴う脳の老化現象が主ですが、  
認知症によるもの忘れである可能性もあります。

認知症は、早期発見・早期診断・早期治療が  
とても重要です。

原因となる疾患によっては治るものや  
進行を遅らせることができるものもあります。

「最近もの忘れが多くなった」

「急に怒りっぽくなった」

「これまでできていた仕事や家事が  
できなくなった」など

認知症に関する悩みや心配事がありましたら

福岡市認知症疾患医療センター 福岡大学病院に  
ご相談ください。

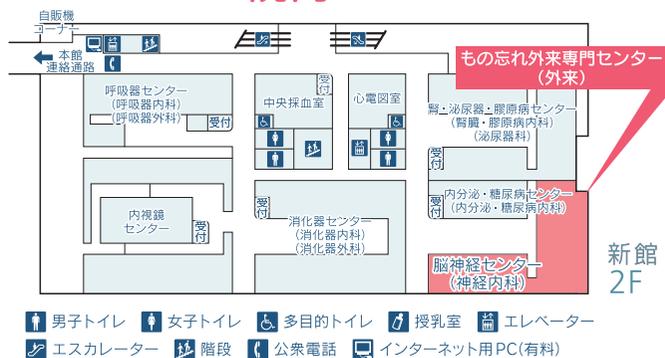
プライバシーは  
厳重に守られます。  
安心してご相談ください。



## アクセス



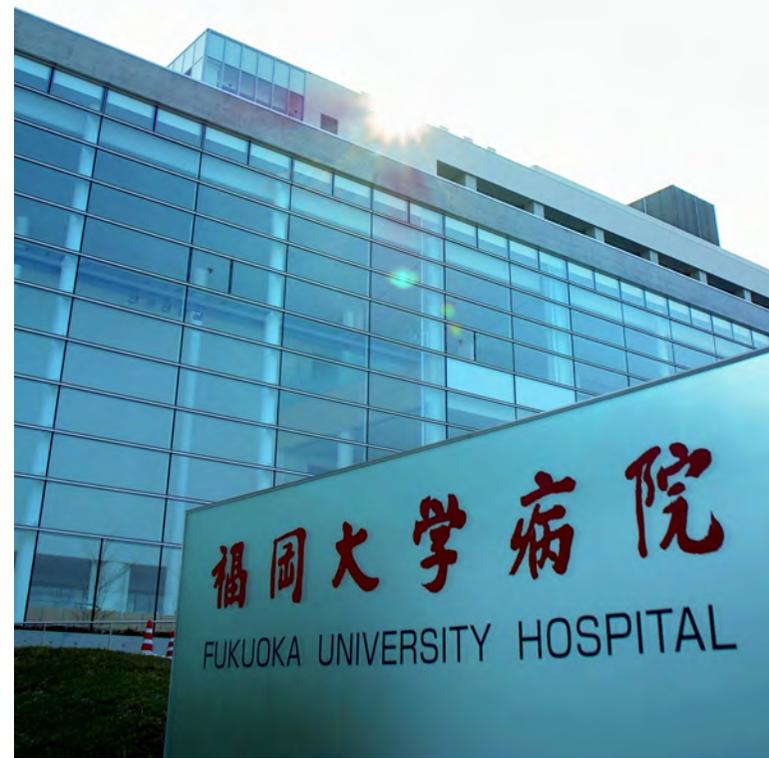
## 院内MAP



### 福岡市認知症疾患医療センター

〒814-0180 福岡市城南区七隈7丁目45番1号  
福岡大学病院 新館1階 もの忘れ外来  
TEL: 092-801-1011 (内線4693)  
FAX: 092-862-8622

# 福岡市 認知症疾患 医療センター のご案内



# 福岡市

## 認知症疾患医療センターでは

次のような業務を行っております。

### ● 認知症に関する専門医療…①へ

➡もの忘れ外来専門センター受診

### ● 認知症に関する専門医療相談…②へ

➡電話・面談にて認知症看護認定看護師や  
精神保健福祉士が相談に応じます。

### ● 周辺症状と身体合併症に対する 急性期治療

➡各協力病院と連携して行います。

### ● 地域連携拠点機能

- ・認知症相談医・かかりつけ医等との  
地域医療連携
- ・区保健福祉センター・いきいきセンター等  
との連携

### ● 各種研修会開催

- ・認知症医療連携協議会開催
- ・かかりつけ医や市民への研修会・講演会
- ・認知症に関する情報発信

## ①もの忘れ外来専門センター 受診方法と流れ

まずは、かかりつけ医へご相談ください。

医療機関からの紹介状と事前の予約申し込みが必要です。

### 予約申し込み



もの忘れ外来専門センター診療日  
月～金曜の午後(13:00～、14:00～)  
(\*病院の休診日を除く)

### 受診当日

\*ご本人の普段の様子を知るご家族や身近な方と一緒に受診下さい。

\*食事や飲水の制限はありません。

\*担当医師による診察、臨床心理士による認知機能検査を行います。

\*必要に応じて、CT、MRI、脳血流シンチなどの画像検査の日程調整を行います。

\*すべての検査終了後、医師より診断の結果と今後の治療方針の説明を行います。

また、看護師、精神保健福祉士が社会資源を含む介護について一緒に考えていきます。

その後、かかりつけ医で継続治療となります。

\*当院はかかりつけ医にはなれません。

## ②専門医療相談窓口について

**対象** ご本人、ご家族・介護者の方など  
どなたでも可

**相談日** 月～金曜の9:30～16:00  
(\*病院の休診日を除く)  
電話相談は随時受けつけています。  
面談相談は事前に予約いただくと  
お待たせしません。

**場所** 新館1階 もの忘れ外来  
認知症疾患医療センター 相談室

**相談窓口** 福岡大学病院 認知症疾患医療センター  
TEL: 092-801-1011(内線4693)

よくあるご質問①

**Q**最近よくもの忘れをします。受診の目安は?

**A**誰もが加齢に伴い、もの忘れを自覚するようになります。認知症かそうでないかを早期に診断することがその後の治療につながります。早期に受診することが大切です。

よくあるご質問②

**Q**かかりつけ医がありません。  
紹介状はなくても受診できますか?

**A**特定機能病院という特性上、紹介なしで受診することはできません。かかりつけ医がない場合、福岡市の認知症相談医をご案内することが可能です。まずはご相談ください。

